

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月5日

上場会社名 フューチャーベンチャーキャピタル株式会社
 コード番号 8462
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川分 陽二
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 大橋 克己
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 大証ヘラクレス
 URL <http://www.fvc.co.jp/>

TEL (075)257-2511

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績 (平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-----|---------|--------|-----|--------|-----|--------|-----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 21年3月期第3四半期 | 314 | (—) | △2,190 | (—) | △2,222 | (—) | △522 | (—) |
| 20年3月期第3四半期 | 335 | (△60.8) | △2,288 | (—) | △2,324 | (—) | △432 | (—) |

| | 1株当たり 四半期純利益 | | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 | |
|-------------|-----------------|----|----------------------------|---|
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 |
| 21年3月期第3四半期 | △15,737 | 70 | — | — |
| 20年3月期第3四半期 | △13,371 | 30 | — | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|-------------|--------|--|--------|--|--------|--|-----------|--|
| | 百万円 | | 百万円 | | % | | 円 銭 | |
| 21年3月期第3四半期 | 18,428 | | 16,310 | | 6.8 | | 36,294 49 | |
| 20年3月期 | 20,230 | | 17,520 | | 8.5 | | 53,412 19 | |

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 1,251百万円 20年3月期 1,727百万円

2. 配当の状況

| (基準日) | 1株当たり配当金 | | | | |
|------------|----------|--------|--------|-----|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 年間 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 20年3月期 | — | — | — | — | 0 00 |
| 21年3月期 | — | — | — | — | 0 00 |
| 21年3月期(予想) | — | — | — | — | — |

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

当社は、その事業特性から株式市場の影響を強く受け、また投資損失引当金繰入額・強制評価損等が業績に与える影響が大きいため、業績予想を合理的に行うことは困難であります。したがって、業績予想は行わず、決算後可能な限り迅速な開示をすることといたします。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有
- ② ①以外の変更 : 無
- 〔(注) 詳細は、8 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- | | | | |
|-------------|---------|--------|---------|
| 21年3月期第3四半期 | 34,507株 | 20年3月期 | 32,357株 |
|-------------|---------|--------|---------|
- ② 期末自己株式数
- | | | | |
|-------------|-----|--------|-----|
| 21年3月期第3四半期 | 12株 | 20年3月期 | 12株 |
|-------------|-----|--------|-----|
- ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)
- | | | | |
|-------------|---------|-------------|---------|
| 21年3月期第3四半期 | 33,220株 | 20年3月期第3四半期 | 32,344株 |
|-------------|---------|-------------|---------|

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、サブプライムローン問題に端を発した世界的な金融不安の高まりと急速な円高の進行が実体経済にも影を落とし始め、企業の生産活動の減退や雇用悪化、個人消費の停滞など景気後退が明らかになってまいりました。

また、新規上場市場に目を移しますと、2008年4月から12月にかけての新規上場企業数は前年の78社に比べ大幅に落ち込み、28社に止まりました。さらには上場初値が公募割れする企業も新規上場企業数28社のうち15社に上るなど、おおそ逆境といえるような状況でありました。

そのような環境の中、当社では不安定な市場環境を予想し、コンサルティング業務への注力と経費の削減を行い、管理報酬その他の安定収入及びコンサルティング収入でもって経費を賄える体制を整えました。

一方で、外部環境の悪化により、未公開での投資先有価証券の売却が思うように進まず、また、投資先企業にも業況が悪化するところが出始めた結果、投資損失引当金の積み増しに繋がりました。

その結果、当第3四半期における経営成績は、売上高314百万円となり、経常損失は2,222百万円、また四半期純損失は522百万円となりました。

当第3四半期のこのような結果を踏まえ、当社は、当社のビジネス・モデル及びビジネス・フロー、ベンチャー・キャピタル業界を取り巻く環境、新規上場市場の今後の状況などを分析し、今後の方針を幅広く検討している最中であります。

当社のビジネス・モデルは、次のとおりであります。

- ① 投資事業組合（以下、「ファンド」という）を組成する。
- ② ファンドから将来成長すると見込んだ未公開企業に投資を実行する。
- ③ 投資先企業が上場を目指し、企業価値を向上させていくことを支援する。
- ④ 投資先企業が十分に成長し上場を果たす。
- ⑤ 株式を市場で売却することでリターンを得る。

このような当社のビジネス・モデルを俯瞰しますと、その各局面において、当社は多くの問題に直面しており、これらの問題が営業損失又は営業キャッシュ・フローのマイナスという形で顕在化し、純資産が毀損しつつある状況であります。

問題の一つは、投資先企業の企業価値向上を支援していく過程において、投資先企業によってはビジネスが思うように行かず、それを反映して当社の会計処理上も投資損失引当金を計上せざるを得ないことであります。当社の場合は特に、2005年8月期以降当期までのおおよそ3年間でファンド出資金総額が、それまでの約100億円から一気に300億円超と急成長しており、投資残高も増加いたしました。

その結果、ビジネス・モデル上、投資実行から2、3年後に当たる前期及び当期において多額の投資損失引当金を計上するに至っており、これに当期のような景況の悪化が加わりますと、さらに多額の投資損失引当金を計上しなければならなくなります。

問題のもう一つは、当社は創業より10年を経て、過去に組成したファンドが回収期を迎えつつあるこの時期において、上述のとおり、新規上場市場は低迷し、また実体経済の雲行きが怪しくなってきたことで、公開・未公開の別なく株式の売却も容易には実行できなくなり、回収が当初の計画どおり実現しない、または予定より遅れているということであります。

これらの当社が直面する問題を克服するために、今後も当社はビジネス・フローを見直し、その中で工夫・研究を重ねてまいります。

また、外部環境の変化に機敏に対応するためにも収益軸を多様化し、強固なビジネス・モデルを構築すべく、ネットワークやノウハウを有する他社との業務提携・資本提携についても積極的に検討していく所存であります。

<営業投資有価証券売上高>

当第3四半期連結累計期間における営業投資有価証券売上高は、株式の売却等により、261百万円となりました。

(営業投資関連損益の状況)

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日) |
|--------------------|--|
| 営業投資有価証券売上高 | 261,460 |
| 営業投資有価証券売却額 (上場) | — |
| 営業投資有価証券売却額 (未上場) | 234,637 |
| 営業投資有価証券利息・配当金 | 26,823 |
| 営業投資有価証券売上原価 | 1,214,502 |
| 営業投資有価証券売却原価 (上場) | — |
| 営業投資有価証券売却原価 (未上場) | 500,353 |
| 減損等 | 714,149 |
| 投資損失引当金繰入額 | 760,110 |
| 営業投資関連損失 (△) | △1,713,151 |

<コンサルティング業務>

当第3四半期連結累計期間におけるコンサルティング業務による売上高は、48百万円となりました。これは主に、他社が運営するファンドに対する投資顧問契約に基づく投資助言業務などによって構成されております。

(営業収益の内訳)

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日) | |
|-------------|--|--------|
| | 金額 | 比率 (%) |
| 営業投資有価証券売上高 | 261,460 | 83.1 |
| コンサルティング業務 | 48,594 | 15.4 |
| その他 | 4,611 | 1.5 |
| 合計 | 314,666 | 100.0 |

<投資事業組合等の状況>

当第3四半期連結会計期間末の当社が管理・運営する投資事業組合は28組合、32,057百万円となりました。

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日) | 前連結会計年度末 (平成20年3月31日) |
|-------------------|--------------------------------|--------------------------|
| 投資事業組合出資金総額 (百万円) | 32,057 | 32,058 |
| 投資事業組合数 (組合) | 28 | 28 |

- (注) 1. 子ファンドは含めておりません。
 2. 「投資事業組合出資金総額」は、コミットメント総額であります。
 3. 「フューチャー三号投資事業有限責任組合」は、平成20年8月29日に期間満了により解散いたしましたが、当第3四半期連結会計期間末においては清算期間中であるため、投資事業組合出資金総額及び投資事業組合数に含めております。

①新規に設立した投資事業組合

当第3四半期連結累計期間において新規に設立した投資事業組合はありません。

②出資金総額が増加した投資事業組合

当第3四半期連結累計期間において出資金総額が増加した投資事業組合はありません。

③出資金総額が減少した投資事業組合

当第3四半期連結累計期間において出資金総額が減少した投資事業組合は、以下の1組合であります。

(単位：百万円)

| 投資事業組合名 | 減少した出資金額 | 内 容 |
|-------------------------|----------|----------|
| フューチャーエンジェル一号投資事業有限責任組合 | 1 | ゼネラルファンド |
| 合計 (1組合) | 1 | |

④清算終了した投資事業組合

当第3四半期連結累計期間において清算終了した投資事業組合はありません。

<投資の状況>

当第3四半期連結累計期間における当社の投資実行の状況は、21社、727百万円となりました。また、当第3四半期連結会計期間末における投資残高は211社、16,603百万円（前連結会計年度末219社、17,186百万円）となっております。

①証券種類別投資実行額

| 証券種類 | 投資実行額 | |
|------|--|----------|
| | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日) | |
| | 金額(千円) | 投資企業数(社) |
| 株式 | 664,910 | 19 |
| 社債等 | 62,169 | 2 |
| 合計 | 727,079 | 21 |

(注) 投資企業数の合計値は、株式、社債等双方に投資している重複社数を調整しております。

②証券種類別投資残高

| 証券種類 | 投資残高 | | | |
|------|--------------------------------|----------|--------------------------|----------|
| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日) | | 前連結会計年度末 (平成20年3月31日) | |
| | 金額(千円) | 投資企業数(社) | 金額(千円) | 投資企業数(社) |
| 株式 | 15,954,199 | 206 | 16,392,992 | 215 |
| 社債等 | 648,914 | 24 | 793,048 | 28 |
| 合計 | 16,603,113 | 211 | 17,186,040 | 219 |

(注) 投資企業数の合計値は、株式、社債等双方に投資している重複社数を調整しております。

<投資先企業の上場状況>

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

当第3四半期連結累計期間において、上場した投資先企業はありません。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

総資産額については、当第3四半期連結会計期間末は、18,428百万円（前連結会計年度末20,230百万円）となりました。その内訳は流動資産18,267百万円（前連結会計年度末20,015百万円）、固定資産161百万円（前連結会計年度末214百万円）です。

負債額については、当第3四半期連結会計期間末は、2,118百万円（前連結会計年度末2,710百万円）となりました。

また、純資産額については、平成20年9月11日に第三者割当による増資を行い資本金及び資本剰余金が各々24百万円増加しましたが、四半期純損失522百万円の計上及び少数株主持分が734百万円減少したこと等に伴い、当第3四半期連結会計期間末は、16,310百万円（前連結会計年度末17,520百万円）となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の8.5%から6.8%となりました。

<キャッシュ・フローの状況>

当第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは1,086百万円のキャッシュアウトフローとなりました。主な内訳は次のとおりであります。（注：△はキャッシュアウトフロー）

| | |
|--------------------|---------|
| ・投資実行に係る支出 | △727百万円 |
| ・売上等による収入 | 274百万円 |
| ・営業投資有価証券（社債）の償還収入 | 80百万円 |
| ・人件費・経費の支出 | △596百万円 |
| ・その他の収支 | △117百万円 |

また、この他に連結損益計算書上、内部取引として相殺消去される投資事業組合等管理収入が472百万円あります。

投資活動によるキャッシュ・フローは43百万円のキャッシュアウトフローとなりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは624百万円のキャッシュインフローとなりました。これは主に、少数株主からの出資941百万円によるものであります。

以上から、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は前連結会計年度末より505百万円減少し、5,398百万円となりました。

<投資損失引当金>

当社は、投資先企業の経営成績及び財務状況を個別に精査し、さらに投資実行の主体である各投資事業組合の解散時期を勘案した上で、それぞれの営業投資有価証券を四半期ごとに評価し、投資損失引当金を計上しております。

当第3四半期連結累計期間においては、投資損失引当金繰入額は760百万円、当第3四半期連結会計期間末における投資損失引当金残高は3,870百万円（前連結会計年度末3,110百万円）となりました。なお、投資損失引当金の戻入額と繰入額は相殺し、純額表示しております。

また、当第3四半期連結会計期間末における営業投資有価証券に対する投資損失引当金の割合は23.3%（前連結会計年度末18.1%）となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社は、業績予想は行いません。詳細は、1 ページ「3. 平成21年3月期の連結業績予想」のとおりであります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日) |
|---------------|--------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 5,473,248 | 5,903,871 |
| 営業投資有価証券 | 16,603,113 | 17,186,040 |
| 投資損失引当金 | △3,870,707 | △3,110,596 |
| その他 | 61,934 | 36,611 |
| 貸倒引当金 | △66 | △119 |
| 流動資産合計 | 18,267,523 | 20,015,806 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 21,892 | 23,950 |
| 無形固定資産 | 36,764 | 46,133 |
| 投資その他の資産 | 102,621 | 144,388 |
| 固定資産合計 | 161,278 | 214,472 |
| 資産合計 | 18,428,801 | 20,230,278 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 短期借入金 | 1,375,000 | 1,565,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 161,310 | 231,460 |
| 預り金 | 427,498 | 624,835 |
| 賞与引当金 | 10,011 | 27,853 |
| その他 | 59,299 | 83,185 |
| 流動負債合計 | 2,033,119 | 2,532,334 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 30,700 | 107,470 |
| 退職給付引当金 | 27,757 | 33,343 |
| その他 | 26,953 | 36,894 |
| 固定負債合計 | 85,411 | 177,708 |
| 負債合計 | 2,118,530 | 2,710,043 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,911,936 | 1,887,211 |
| 資本剰余金 | 626,386 | 601,661 |
| 利益剰余金 | △1,285,503 | △762,727 |
| 自己株式 | △2,172 | △2,172 |
| 株主資本合計 | 1,250,646 | 1,723,972 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,331 | 3,644 |
| 評価・換算差額等合計 | 1,331 | 3,644 |
| 少数株主持分 | 15,058,292 | 15,792,618 |
| 純資産合計 | 16,310,271 | 17,520,235 |
| 負債純資産合計 | 18,428,801 | 20,230,278 |

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日) |
|-----------------|--|
| 売上高 | |
| 営業投資有価証券売上高 | 261,460 |
| コンサルティング収入 | 48,594 |
| その他 | 4,611 |
| 売上高合計 | 314,666 |
| 売上原価 | |
| 営業投資有価証券売上原価 | 1,214,502 |
| 投資損失引当金繰入額 | 760,110 |
| その他 | 314,143 |
| 売上原価合計 | 2,288,755 |
| 売上総損失(△) | △1,974,089 |
| 販売費及び一般管理費 | 216,068 |
| 営業損失(△) | △2,190,157 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息及び配当金 | 6,884 |
| 講演料収入 | 1,972 |
| その他 | 1,131 |
| 営業外収益合計 | 9,988 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 34,990 |
| その他 | 7,382 |
| 営業外費用合計 | 42,372 |
| 経常損失(△) | △2,222,542 |
| 特別利益 | |
| 貸倒引当金戻入額 | 53 |
| 特別利益合計 | 53 |
| 特別損失 | |
| 事務所移転費用 | 12,187 |
| 本社改装費用 | 5,379 |
| 特別損失合計 | 17,566 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △2,240,055 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 20,968 |
| 法人税等調整額 | 8 |
| 法人税等合計 | 20,977 |
| 少数株主損失(△) | △1,738,216 |
| 四半期純損失(△) | △522,816 |

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年12月31日)

| | |
|---------------------|------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △2,240,055 |
| 減価償却費 | 13,528 |
| 投資損失引当金の増減額(△は減少) | 760,110 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △17,842 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | △5,586 |
| 受取利息及び受取配当金 | △33,707 |
| 資金原価及び支払利息 | 35,719 |
| 有形固定資産除却損 | 4,502 |
| 営業投資有価証券の増減額(△は増加) | 582,926 |
| 未収入金の増減額(△は増加) | △26,529 |
| 未払金の増減額(△は減少) | 2,897 |
| 未払費用の増減額(△は減少) | △8,870 |
| 預り金の増減額(△は減少) | △197,337 |
| その他 | 65,645 |
| 小計 | △1,064,598 |
| 利息及び配当金の受取額 | 33,023 |
| 利息の支払額 | △42,985 |
| 法人税等の支払額 | △12,166 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △1,086,725 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 有形及び無形固定資産の取得による支出 | △6,604 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △13,711 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 51,475 |
| 定期預金の預入による支出 | △1,150,000 |
| 定期預金の払戻による収入 | 1,075,000 |
| その他 | 425 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △43,415 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | △190,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △146,920 |
| 株式の発行による収入 | 49,450 |
| 株式の発行による支出 | △782 |
| 少数株主からの払込みによる収入 | 941,150 |
| その他 | △28,378 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 624,518 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △505,622 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 5,903,871 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 5,398,248 |

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)

四半期連結財務諸表上、当第3四半期連結会計期間末現在における短期借入金と1年以内に返済予定の長期借入金の合計額は1,536,310千円となっており、これらにつきましては全額が当社の子会社である投資事業組合を除いた当社本体に帰属するものであります。

一方で、当第3四半期連結会計期間末現在の当社本体が所有している現金及び預金の残高は114,502千円であります。

これらの借入金につきましては、当第3四半期連結会計期間末現在では返済期日後の契約について主要金融機関と交渉中であることから、継続企業の前提に関する重要な疑義が存在しておりました。

しかしながら、当社は当該状況を解消すべく、主要金融機関と交渉を重ね、その結果、平成21年1月29日におきまして、主要金融機関に対する短期借入金を長期借入金に契約変更したため、継続企業の前提に関する重要な疑義を抱かせる状況は解消しております。なお、契約変更の内容につきましては「重要な後発事象」に記載のとおりであります。

当第3四半期連結会計期間におきましては、管理報酬及びコンサルティング収入等の安定収入で支出を賄うべく経費の削減を行い、一定の目標を達成しております。第4四半期連結会計期間以降においては、管理報酬等の安定収入に加えて、その他のコンサルティング等による収入が見込めることにより、経常的な支出については資金繰りの懸念を改善いたしました。

また、未上場の営業投資有価証券の売却や新たな収益源としてのM&A・事業再生に関するコンサルティング業務を獲得していくため、ネットワークやノウハウを有する他社との業務提携・資本提携についても実効性のあるスキームの構築を行って参ります。

なお、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、このような重要な疑義の影響を四半期連結財務諸表には反映しておりません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

(単位：千円)

| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
|-----------------------|-----------|---------|------------|--------|-----------|
| 前連結会計年度末残高 | 1,887,211 | 601,661 | △762,727 | △2,172 | 1,723,972 |
| 当第3四半期連結会計期間末までの変動額 | | | | | |
| 四半期純損失(△) | | | △522,816 | | △522,816 |
| 新株の発行 ※ | 24,725 | 24,725 | | | 49,450 |
| その他 | | | 40 | | 40 |
| 当第3四半期連結会計期間末までの変動額合計 | 24,725 | 24,725 | △522,776 | — | △473,326 |
| 当第3四半期連結会計期間末残高 | 1,911,936 | 626,386 | △1,285,503 | △2,172 | 1,250,646 |

※ 当社は、平成20年8月21日の取締役会決議に基づき、平成20年9月11日付で2,150株（49,450千円）の第三者割当による新株発行を行い、払い込みを受けました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ24,725千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が1,911,936千円、資本剰余金が626,386千円となっております。

6. その他の情報

(重要な後発事象)

(短期借入金の契約形態の変更について)

当社は取引金融機関2行との間で平成21年1月29日におきまして、下記のとおり契約形態の変更を行っております。

| 目的 | 資金使途に対応する契約形態の変更 | |
|-----------------|------------------|--------------|
| 借入先の名称 | 株式会社愛媛銀行 | 株式会社関西アーバン銀行 |
| 借入金額 | 3.48億円 | 8.9億円 |
| 変更後の金利 | 3.500% | 3.375% |
| 変更後の返済期限 | 平成23年1月31日 | 平成23年1月31日 |
| 変更による利息の増減額(年間) | 435千円増 | — |
| その他重要な特約等 | 該当なし | 該当なし |

「参考」

(要約) 前四半期連結損益計算書

(単位：千円)

| 科 目 | 前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日) |
|-----------------|--|
| | 金 額 |
| I 売上高 | 335,528 |
| II 売上原価 | 2,341,552 |
| 売上総損失(△) | △2,006,024 |
| III 販売費及び一般管理費 | 282,363 |
| 営業損失(△) | △2,288,387 |
| IV 営業外収益 | 6,517 |
| V 営業外費用 | 42,186 |
| 経常損失(△) | △2,324,056 |
| VI 特別利益 | 293 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △2,323,763 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 9,085 |
| 法人税等調整額 | 5 |
| 少数株主損失(△) | △1,900,367 |
| 四半期純損失(△) | △432,486 |

<参考情報：個別決算情報>

以下に記載されている個別決算数値は、法定開示におけるレビュー対象ではありません。また、当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用し、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

1. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| 区 分 | 当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日) | | 前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日) | |
|-----------------|------------------------------|-----------|--------------------------------------|-----------|
| | 金 額 | | 金 額 | |
| (資産の部) | | | | |
| I 流動資産 | | | | |
| 1 現金及び預金 | | 648,607 | | 1,110,310 |
| 2 営業投資有価証券 | | 2,772,755 | | 2,900,978 |
| 3 投資損失引当金 | | △675,028 | | △540,528 |
| 4 その他 | | 37,818 | | 364,277 |
| 貸倒引当金 | | △116 | | △147 |
| 流動資産合計 | | 2,784,037 | | 3,834,890 |
| II 固定資産 | | | | |
| 1 有形固定資産 | | 21,892 | | 23,950 |
| 2 無形固定資産 | | 36,764 | | 46,133 |
| 3 投資その他の資産 | | 102,621 | | 144,388 |
| 固定資産合計 | | 161,278 | | 214,472 |
| 資産合計 | | 2,945,315 | | 4,049,362 |
| (負債の部) | | | | |
| I 流動負債 | | | | |
| 1 短期借入金 | | 1,375,000 | | 1,565,000 |
| 2 1年内返済予定の長期借入金 | | 161,310 | | 231,460 |
| 3 賞与引当金 | | 10,011 | | 27,853 |
| 4 その他 | | 64,295 | | 400,029 |
| 流動負債合計 | | 1,610,616 | | 2,224,342 |
| II 固定負債 | | | | |
| 1 長期借入金 | | 30,700 | | 107,470 |
| 2 退職給付引当金 | | 27,757 | | 33,343 |
| 3 その他 | | 26,953 | | 36,894 |
| 固定負債合計 | | 85,411 | | 177,708 |
| 負債合計 | | 1,696,028 | | 2,402,051 |

(単位:千円)

| 区 分 | 当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日) | | 前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日) | |
|--------------|------------------------------|------------|--------------------------------------|-----------|
| | 金 額 | | 金 額 | |
| (純資産の部) | | | | |
| I 株主資本 | | | | |
| 1 資本金 | | 1,911,936 | | 1,887,211 |
| 2 資本剰余金 | | | | |
| 資本準備金 | 626,386 | | 601,661 | |
| 資本剰余金合計 | | 626,386 | | 601,661 |
| 3 利益剰余金 | | | | |
| その他利益剰余金 | | | | |
| 繰越利益剰余金 | △1,288,194 | | △843,033 | |
| 利益剰余金合計 | | △1,288,194 | | △843,033 |
| 4 自己株式 | | △2,172 | | △2,172 |
| 株主資本合計 | | 1,247,955 | | 1,643,666 |
| II 評価・換算差額等 | | | | |
| その他有価証券評価差額金 | | 1,331 | | 3,645 |
| 評価・換算差額等合計 | | 1,331 | | 3,645 |
| 純資産合計 | | 1,249,287 | | 1,647,311 |
| 負債純資産合計 | | 2,945,315 | | 4,049,362 |

(2) 四半期損益計算書

(単位:千円)

| 区 分 | 当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日) | | 前第3四半期累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日) | |
|----------------|--|----------|--|----------|
| | 金 額 | | 金 額 | |
| I 売上高 | | | | |
| 1 投資事業組合等管理収入 | 472,183 | | 518,943 | |
| 2 営業投資有価証券売上高 | 37,011 | | 31,621 | |
| 3 コンサルティング収入 | 48,594 | | 53,102 | |
| 4 その他 | 5,571 | 563,360 | 11,042 | 614,710 |
| II 売上原価 | | | | |
| 1 営業投資有価証券売上原価 | 202,198 | | 54,629 | |
| 2 投資損失引当金繰入額 | 134,497 | | 184,253 | |
| 3 その他 | 391,634 | 728,330 | 613,963 | 852,845 |
| 売上総損失(△) | | △164,969 | | △238,135 |
| III 販売費及び一般管理費 | | 212,750 | | 261,059 |
| 営業損失(△) | | △377,720 | | △499,194 |
| IV 営業外収益 | | 3,826 | | 6,517 |
| V 営業外費用 | | 42,372 | | 42,186 |
| 経常損失(△) | | △416,266 | | △534,863 |
| VI 特別利益 | | 31 | | 301 |
| VII 特別損失 | | 17,566 | | — |
| 税引前四半期純損失(△) | | △433,802 | | △534,562 |
| 法人税、住民税及び事業税 | | 11,357 | | 9,085 |
| 四半期純損失(△) | | △445,160 | | △543,647 |

2. その他の情報

<投資事業組合への出資金に係る会計処理>

当社が管理・運営する投資事業組合への出資金に係る会計処理は、当社と決算日が異なる組合については、決算日における組合の(中間)決算もしくは仮決算による財務諸表に基づいて、組合の資産、負債、収益及び費用を当社の出資持分割合に応じて計上しております。

当社の四半期貸借対照表及び四半期損益計算書で計上されております主な科目の内訳は次のとおりであります。

(1) 四半期貸借対照表

投資事業組合で発生している額は次のとおりであります。

現金及び預金 534,105 千円

(注) 当社単体で保有している現金及び預金は 114,502 千円であります。

営業投資有価証券 2,556,955 千円

投資損失引当金 △663,028 千円

(2) 四半期損益計算書

四半期損益計算書における営業損益を、当社単体で発生している損益と投資事業組合で発生している損益に分解いたしますと次のとおりであります。

| | 損益計算書上の科目 | 当第1四半期会計期間 | 当第2四半期会計期間 | 当第3四半期会計期間 |
|-----------------------------|--------------|-----------------------------|-----------------------------|-------------------------------|
| | | (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日) | (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日) | (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日) |
| | | 金額 | 金額 | 金額 |
| 当社単体 で発生し ている損 益 | 投資事業組合等管理収入 | 158,291 千円 | 157,603 千円 | 156,288 千円 |
| | コンサルティング収入 | 12,301 千円 | 13,439 千円 | 22,854 千円 |
| | 営業投資有価証券売上高 | — 千円 | 3,000 千円 | — 千円 |
| | その他 | 2,958 千円 | 2,066 千円 | 3,313 千円 |
| | 売上高合計 | 173,550 千円 | 176,109 千円 | 182,456 千円 |
| | 営業投資有価証券売上原価 | — 千円 | 1,500 千円 | — 千円 |
| | 資金原価 | 273 千円 | 273 千円 | 181 千円 |
| | その他 | 114,037 千円 | 103,577 千円 | 95,799 千円 |
| | 売上原価合計 | 114,310 千円 | 105,351 千円 | 95,981 千円 |
| | 売上総利益 | 59,239 千円 | 70,758 千円 | 86,475 千円 |
| 販売費及び一般管理費 | 75,258 千円 | 75,440 千円 | 62,051 千円 | |
| 営業利益又は営業損失(△) | △16,018 千円 | △4,682 千円 | 24,424 千円 | |
| 投資事業 組合で発 生してい る損益 | 営業投資有価証券売上高 | 849 千円 | 4,594 千円 | 22,413 千円 |
| | その他 | 785 千円 | 861 千円 | 1,739 千円 |
| | 売上高合計 | 1,635 千円 | 5,456 千円 | 24,152 千円 |
| | 営業投資有価証券売上原価 | 21,854 千円 | 81,209 千円 | 97,633 千円 |
| | 投資損失引当金繰入額 | 33,299 千円 | 36,182 千円 | 65,015 千円 |
| | その他 | 24,226 千円 | 26,603 千円 | 26,661 千円 |
| | 売上原価合計 | 79,381 千円 | 143,994 千円 | 189,311 千円 |
| 売上総損失(△) | △77,746 千円 | △138,538 千円 | △165,158 千円 | |
| 営業損失(△) | △77,746 千円 | △138,538 千円 | △165,158 千円 | |